



講師：松本勝利先生

医療法人慈愛恵真会 理事長
 あらかい歯科医院(福島県) 開設
 GLOBAL DENTAL SYSTEM 代表
 日本顎咬合学会 学術委員
 日本審美歯科協会 会員
 神奈川県歯科大学顎咬合機能回復
 補綴医学講座 非常勤講師
 明海大学卒業後研修 担当講師
 dTI ワールドメンバー
 現在、北海道・近畿圏・関東圏・
 九州圏にてセミナーを多数開催中

総義歯治療が成功するには、 印象採取の正確性はもとより、人工歯の排列位置、そして咬合の付与の仕方が正確に行われていることは必須条件であるといえます。

印象採取については、解剖学的な事項を踏まえてダブルインプレッションを行うことによりシンプルかつ正確に行うことが可能となってきています。

そして、口腔内に装着される補綴物が口腔諸組織に干渉することで発生する側方力がかからないようにするために“人工歯排列ポジション”をニュートラルゾーンに排列する事は義歯の維持安定を確保するために重要な事項です。これはインプラント治療を行う際においても上部構造が口腔諸組織に干渉しない位置に設定されるようにインプラントの埋入位置を設定する上で必要な知識であるといえます。同時にニュートラルゾーンに排列するには、適正な咬合高径を与える事も重要となります。

また、GDSで総義歯に与える咬合様式は、「動く総義歯」を想定した咬合様式(両側性平衡咬合)とは異なり、排列位置と咬合を適正に与える事により実現する“動かない総義歯”を想定し、機能咬頭の摩擦防止による咬合高径の減少を可能な限り抑えるべくグループファンクションおよびケイナインガイダンスにて付与する事を前提としており、平衡側においてバランスングコンタクト以外は付与しないようにしています。そしてこの咬合様式は「“杭”の存在しない総義歯」上においても機能可能であるため、より強固に咬合を受け止めているいわゆる歯根やインプラントのような「“杭”が存在する通常の補綴治療」において歯根やインプラントに側方力を極力かけないような設計が可能となってきます。

そして、これら上記の手法を用いる事により、インプラントオーバーデンチャーを製作するときも役立ちます。

今回、総義歯治療を通して、咬合再構築には欠かせない様々な知識と治療手法をご紹介します。



◆受講お申し込み欄

お名前 ※いずれかにチェックを入れてください。

フリガナ	<input type="checkbox"/> 歯科医師
	<input type="checkbox"/> 歯科技工士

ご勤務先名

フリガナ

受講票送付先ご住所

住所：〒
TEL：
FAX：
e-mail：
<small>※受付確認書をお送り致しますので、FAXかe-mailアドレスのご記入をお願い致します。</small>

懇親会の出席 ※いずれかにチェックを入れてください。

<input type="checkbox"/> 出席する	・	<input type="checkbox"/> 欠席する
-------------------------------	---	-------------------------------

お申し込みは

FAX: 03-3526-5556

TEL:03-3526-5546

1.5days

2017年

日時

11月18日(土) 19日(日)

(土) 14:00-19:00 / (日) 10:00-16:30

会場

(株) 岩瀬歯科商会 上野本社 研修室
 東京都台東区台東2-23-7

※18日のセミナー終了後に講師を囲んでの懇親会を開催致します！
 約2時間を予定しております。参加をご希望の方は、左記にてお申込みください。
 なお、別途会費約¥6,000を当日お申し受け致します。

受講料
(税込)

◆早期お申込み価格(2017年9月30日まで受付分)
DR: ¥37,800 / DT: ¥29,700

◆通常価格(2017年10月1日から受付分)
DR: ¥40,500 / DT: ¥32,400

定員

30名 定員に達し次第、締め切りとさせていただきます。

お問い合わせ先

(株) 岩瀬歯科商会の営業スタッフまたは
 (株) アイ・デンタル・インフォメーション
 <TEL: 03-3526-5546>までお問い合わせください。